



★羅針盤 No.89

東港金属株式会社
東京都大田区京浜島2-20-4
電話 03-3790-1751
URL <http://www.tokometal.co.jp>
(見学受付)
電話03-3790-1751 又は 各営業担当

*7月6日九州北部地区では、「線状降水帯」が居座り続け、思いがけない豪雨の被害が出ました。その被害対応の目処も立たないうちに、今度は大きな台風が発生し日本列島が狙われています。水は命の根源といわれながら、その水で命を落とすこともあると思うとき、自然の非情さに戦慄が走りますが、被災地の方々が一日でも早く落ち着いた生活に戻られるよう祈り、それぞれが出来る援助に参加して、絆の輪を広げたいものです。
*夏を謳歌するセミの季節です。事務所前の桜並木はこのところ終日蝉時雨が絶えません。日本に棲む蝉は30種類ほどいるようですが、今は、ミンミンゼミ、アブラゼミ、夕暮れにはヒグラシの声も聞こえることがあります。音量は相当なものです、街にあふれる騒音とは別次元の蝉時雨。なんだか元気をもらいます。蝉の大合唱が台風を追い払ってくれることを祈りましょう。
*東港金属株式会社は非鉄・スクラップの買取り、産業廃棄物処理を“いつでも”お受け致します。ヤードも広くなりました。身近なリサイクルパートナーとしてお気軽にご相談ください。



営業部 Y の考察



★羅針盤

鉄・非鉄スクラップ・市況からの8月予測

- 鉄スクラップ** → 考察) 7月は指標となる東京製鉄宇都宮工場特級価格26,500円/トンスタート。最終的には、28,000円/トン。8月は炉修工事・荷制限はあるものの輸出価格の上昇・発生薄・により8月は上がると考えられます。
- 銅** → 考察) 7月はLME6,000ドル台/トン、国内銅建値690,000円/トンでスタート。中盤までは上げ下げを続けていたが、26日にLME6,150ドル/トンを突破。最終週では、6,350ドル/トン国内銅建値740,000円/トンに上昇。中国が秋に控え共産党大会への景気対策及び生産国であるチリ・インドネシアのストが重なったことで供給不安につながったことが初年来の高値に結び付いたと思われる。8月の銅相場ですが、上げが予想されます。
- アルミ** → 考察) 7月はLME1,900ドル台/トンを維持。8月に関しては、割安な輸入塊の入着により下げ要因が有りますが、解体遅れ等により発生減も予想されるため8月は横ばいでしょう。
- プラスチック** → 考察) プラスチックに関しては、大きな動きは見られないものの、ディーラーの買い意欲が弱まっている、8月以降は、価格以前に有価としての対応が、ますます厳しくなると思われる。

7月予測の自己評価

鉄スクラップ	○	アルミ	×
銅	○	プラスチック	○

★羅針盤 中国における金属スクラップ輸入禁止発表について

習政権になり、中国政府の環境規制強化への姿勢は益々強くなっている。今年7月から中国側沿岸部のスクラップ解体工場では一斉に政府の立入り検査が入り、殆どの末端業者が不合格になっているケースが見られた。

7月18日、プラスチック類や紙屑、バナジウムを含んだ残渣などの固体廃棄物4類24種に対し、年内に輸入禁止との発表が出された。可能な限り国内再生資源に切替えていく意向を示したのである。
続いて7月26日には、中国有色金属工業協会(中国の非鉄産業業界団体)により、2018年末をもって廃金属7類に属する雑品、モーター、電線の輸入を禁止するとの通達が出された。
中国政府は今後国内で発生した金属スクラップを適正処理することを重視し、スクラップ輸入業者を本格的に淘汰する体制に入ったのだ。

中国が上記のような状況になったことで、日本国内でも既に様々な影響が出始めている。プラスチック類は既に有価物としては殆ど流通できなくなった為、今後は産業廃棄物として日本国内で適正な処理を行わなければならない。輸出主要品目である雑品類および電線類についても、LME(ロンドン金属取引所)が急激な価格上昇したにも関わらず、輸出価格にはほとんど反映されていない状況が続いている。
中国政府のトップダウン政策(輸入禁止)により、末端業者達の輸入ライセンス枠はかなり減少してしまった。来年も事業継続できるかどうかは全く予測できない状態であり、現時点で購入意欲はやや低下している。

理論的には、上記の禁止品目も日本国内で選別・加工を行った上で、ミックスメタルや込銅などの第6類に分類できれば、2019年以降も継続して中国向けに輸出することは可能である。しかし、中国国内で行われるリサイクルプロセス(人海戦術)が、短期間の内に日本国内で実現出来るかは懸念される部分だ。人手不足で人件費が高い日本国内の事情を鑑みれば、恐らくはリサイクル機械&設備を導入する道になる可能性が高いだろう。設備&インフラ投資、リサイクル処理能力、生産された金属屑価値などのシナリオを踏まえた上で、綿密な事業計画書および損益計算書を作成し、慎重に進めていかねばならない。

いずれにしても、低品質である雑品類および家電線は、近いうちに廃プラのように廃棄物扱いになるかもしれない。あと1年ほどで中国側の法制度改正、輸入方針などは全世界の静脈産業に大きな影響を与えていくだろう。今後も目が離せないテーマである。

トライメタルズ株式会社
(中国社会科学院海外理事) 車 佳
高橋 諒



「私の学生時代」 (第5回)

いよいよ夏本番です。今年、関東の梅雨はびっくりするほど雨の日が少なく、あっという間に明けてしまったような印象です。

私は前回の本誌で、梅雨嫌い雨嫌いなどと騒ぎたてましたが、どうやら心配する必要はなかったようです。それはよかったのですが、今年の夏は異常に暑いですね。東京では今年7月の最高気温平均が昨年より2℃も高かったようで、予報によれば残暑もひどく、涼しくなるのは例年よりも遅いとの事。地球温暖化が事実なら、来年以降もさらに気温は上昇していくのでしょうか。2020年に東京オリンピックがありますが、この過酷な暑さの中で良い記録が出せるのか、そもそも無事に競技ができるのか怪しいところ。兎にも角にも、熱中症にならぬようによく水分をとり、夏を乗り越えていきましょう。
さて、前回は中学・高校時代の親への反抗期について書きましたが、その続きです。

私は当時、高校を卒業したら地元から離れた所で就職するつもりでした。とは言っても、心中はただ親元から離れたたいという願望だけで、就きたい職や夢があったわけではありません。それ故、大きな夢をもち、それを叶えるために努力している友達を見ると心底羨ましく感じていました。
しかし、そんな大した理由のない就職希望で親や教師が納得するわけもなく、結局、説得された後に大学進学することになったのです。「まあ大学ならある程度自由だしいいか、その間に将来の夢を見つけよう・・・」怒られてしまうかもしれませんが、進学を決めたのもまたその程度の理由でした。

高校2年生の冬ごろ、周りに少し遅れつつ、ようやく受験勉強を始めました。当然受験勉強は辛いものですが、私にはもっと辛かった出来事が一つありました。
受験生生活の中で唯一楽しみにしていた高校生活最後の文化祭が、なんと、大学入試日と重なってしまったのです！
小・中・高の全ての修学旅行で土砂降りになるほど運が悪い私でしたが、この時ばかりはうんざりして試験を投げ出しそうになりました。結局、クラスの出し物(お化け屋敷)の準備は手伝いつつも、当日は参加できない現実に出ブルーな気持ちになりながら、試験日を迎えることになったのです。

そんな、どうにか試験は無事通過し、地元から近い大学に進学することになります。
当然、大学卒業後にリサイクル業に携わるとはまだ想像もしていません。まだ続きます。

(トライメタルズ株式会社 高橋諒)